

科目名	情報処理基礎Ⅰ Fundamentals of Information ProcessingⅠ			担当教員	田村 恭士 (窓口教員：柿元 健)		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義・実習	科目番号	17132002	単位区分	履修単位
学習目標	情報を扱う上での倫理観、および情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。コンピュータや情報通信ネットワークの活用を通して、情報を適切に収集・処理発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。						
進め方	教科書に沿って授業を進めていくことに加え、適宜、実習を行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	オリエンテーション(1) 1. 情報社会とわたしたち (1) 情報社会(5) (2) 情報社会の個人 (4) (3) 情報とメディア(4)			・情報化の光と影について理解し、具体例を示すことができる(A-1) ・個人情報の概念や、個人情報保護について理解している(A-1) ・情報やメディアの特徴、分類、特性について知識を持っている(B-1)			
	[前期中間試験](1)						
	試験返却・解説(1)						
	2. 情報機器とデジタル表現 (1) デジタルと情報機器(4) (2) デジタル表現(4) 3. 表現と伝達 (1) 表現の工夫(2) (2) 表計算ソフトの利用(2) (3) プレゼンテーション(2)			・情報機器の種類と特徴について理解している(B-1) ・情報を2進数で表現することについて理解している(B-1) ・情報伝達する際の留意点について理解している(B-1) ・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現する知識がある(B-1)			
	前期末試験						
	試験返却・解説(1)						
	4. 表現と伝達 (3) プレゼンテーション(4) (4) Web ページの利用(6) 5. コミュニケーションとネットワーク (1) コミュニケーション(2) (2) ネットワーク(4)			・プレゼンテーションの企画から制作・発表までを行うことができる(C-2) ・HTML のタグを使って、Web ページにテキストや画像などを入れることができる(C-2) ・目的に適したコミュニケーションの方法を選択できる(D-1) ・各種インターネットのサービスを利用できる(C-2)			
	[後期中間試験](1)						
	試験返却・解説(1)						
評価方法	6. 法規とセキュリティ (1) 情報の管理・保護に関する法律(2) (2) 情報セキュリティ(2) 7. 情報社会と問題解決 (1) 情報システムと人間(4) (2) 問題解決(2)			・著作権などの侵害事例で、どの権利を侵害しているかを適切に判断できる(B-1) ・情報セキュリティ技術の知識がある(B-1) ・社会における主な情報システムの種類と内容について理解している(B-1) ・問題解決のための計画や情報収集を行うことができる(C-2)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	定期試験 4 回の結果を 60%、演習課題 30%、学習ノート 10%として総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	〔情報処理基礎Ⅰ〕(1年)→情報処理基礎Ⅱ、情報数学基礎(2年)→ 情報処理基礎Ⅲ(3年)						
教材	教科書：最新社会と情報 ISBN：978-4-407-20227-4 補助教材：最新社会と情報学習ノート ISBN：978-4-407-32861-5						
備考	オフィスアワーは授業中に別途指示するが、メールでも質問を受け付ける。						